

【50】新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(拡充)

平成20年度概算要求額:3,090百万円

(平成19年度予算額:1,590百万円)

事業開始年度:平成19年度

事業達成年度:平成23年度

主管課

高等教育局学生支援課 (課長:村田 善則)

関係課

高等教育局大学振興課 (課長:中岡 司)

事業の概要

大学、短期大学、高等専門学校(以下「大学等」。)で実施している学生支援の充実に資する取組のうち、特色ある優れたプログラムを選定し、財政支援を行うとともに、広く社会に情報提供を行うことにより、各大学等における学生支援の面での改革の取組を一層促進し、学生支援全体のより一層の充実に図る。

必要性

近年、進学率の上昇、国際化の進展に伴う外国からの留学生、教育内容の多様化や高度化など、学生を取り巻く環境が大きく変化しており、また、資質、能力、知識の異なる多様な学生が増加している。

加えて、少子化、ニート・フリーターなどの様々な社会的問題も生じており、このような中で、大学等における学生支援においても、従来の取組に比してより一層の工夫・充実が求められている。

さらに、平成17年1月の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」において、早急に取り組むべき重点施策の一つとして「学生支援の充実・体系化」が取り上げられているなど、大学等における学生支援の充実は重要な課題であり、国公立の大学等を通じ、競争的な環境の下で取組を支援していく必要がある。

効率性

本プログラムは、国公立の大学等が実施する、入学から卒業までを通じた総合的な学生支援のプログラムのうち、新しい発想や効果的な方法等によって特色のある優れた支援を含むもので、他大学等の参考となり我が国の学生支援の充実に資するプログラムを募集の対象としており、当該大学等のみならず、高等教育機関全体に対し、効果的に大学改革の促進が図られるものであり、また、国公立を通じた財政支援を行うことで、競争的な環境の整備や資源配分の効率化が図れる。

有効性

(施策目標)

施策目標3-1 大学などにおける教育研究の質の向上

上記のように、当該大学等のみならず、高等教育機関全体に対し、効果的に大学改革の促進が図られるものである。

また、応募と選定の状況、選定されたプログラムの事例集等を通じて効果を把握するとともに、当該取組の効果を検証するため、一定期間経過したプログラムを対象に状況調査を実施予定である。

公平性、優先性

本プログラムは、国公立別の設置形態に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校のすべての高等教育機関を対象とするものであり、公平性を担保できる。

また、選定に当たっては、有識者・専門家等で構成される「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム実施委員会」において、公正に審査及び評価を実施する。

18年度実績評価結果との関係

特になし。(平成19年度新規事業)

広報計画

特になし。

備考

特になし。

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)

平成20年度概算要求額 31億円
(平成19年度予算額 16億円)

目的

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図る

対象: 国公立の大学、短期大学及び高等専門学校(大学院は対象としない)
財政支援期間: 大学: 4年以内
短大・高専: 2年以内
選定予定件数: 60件程度
補助金基準額: 25,000千円以内/年

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム実施委員会

情報発信

事例集の作成、
フォーラムの開催、
ホームページ等による
情報提供 など

公募・審査、事後評価

大学・短期大学・高等専門学校

学生支援プログラム

現在の学生支援の取組

修学支援、学生相談、就職支援、
健康支援・メンタルヘルス支援、
経済的支援、課外活動支援、
学生生活上の支援、留学生への支援、
障害のある学生への支援 など

ポイント

- ・社会的ニーズや学生のニーズに的確に対応
- ・現在の学生支援の取組を適切に実施
- ・学内連携など取組のより効果的な実施のための体制
- ・FD、SDなど教職員の専門的知識や能力の向上
- ・適切な評価と取組改善への活用

新たな取組 (経費補助の対象)

新しい発想や効果的な
方法等により、特色のある
優れた支援を実施

ポイント

- ・独自の創意工夫が行われ
他大学等の参考となる
- ・大きな効果が期待される
- ・将来の発展が見込まれる

相乗効果

多様な学生

資質、能力、知識
の異なる学生

留学生

障害のある学生

など

様々な 社会的課題

少子化

ニート・フリーター

再チャレンジ

など

期待される効果

- ・学生が学習に集中
できる環境作り
- ・学生生活の様々な
悩みの解決
- ・学生の人間的な成
長の促進
- ・多様な学生の就学
機会の確保
- ・様々な社会的課題
に対応